

1. 評価結果概要表

作成日 H19年9月24日

【評価実施概要】

事業所番号	4270202296		
法人名	有限会社 いこい		
事業所名	グループホーム 胡桃		
所在地	〒857-1152 長崎県佐世保市黒髪町4522 (電話) 0956-34-8833		
評価機関名	特定非営利活動法人ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	長崎県島原市高島二丁目7217島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成19年9月18日	評価確定日	平成19年10月15日

【情報提供票より】(H19年8月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 8月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 7人 , 非常勤 人, 常勤換算 7人	

(2) 建物概要

建物構造	木 造 造り		
	2 階建ての	1 階 ~	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	6,000 円
敷 金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000 円	

(4) 利用者の概要(平成19年8月25日現在)

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護1	4 名	要介護2	2 名
要介護3	2 名	要介護4	0 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 79.2 歳	最低 74 歳	最高 90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	高橋脳神経外科クリニック
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

平成16年の開設当初より人工透析者の受け入れもされており、現在9名の入居者の内3名の透析者の健康管理、透析受診を親身になって支援している。又、入居者一人ひとりの経歴、趣味、能力などを把握し、ホーム生活にもこれまでの生活の延長の支援をされており、入居者にとって自由で暮らしやすいホームである。最近の問題で、入居者の【自由とわがまま】の境界・違いの対応に困窮される事があり、入居者の加齢とレベルが低下した分、職員の受容量を進歩させ、これまで通り入居者にとって自由で暮らしやすいホームであり続けられることが課題である。

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員会議などで話し合いをされ、個人記録の夜勤帯の赤色記入を青色記入に変更し、変化などの注意を要する記録を赤色記入に統一されている。関連した取り組みで、申し送りメモ用紙を作成し、個人記録に転記されている。現在は、重要事項申し送りメモに変更されている。又、同じ入居者の転倒事故が多かったため転倒に繋がる可能性を排除することで事故の軽減に努められている。しかし、会議録には残されているが改善計画シートなどの作成には至っていない。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員に配布して記入を要請したが未記入の項目が多く、管理者も不足を痛感されている。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>基本的に2ヶ月に1回の開催を目指されており、9月28日に3回目の開催を予定されている。職員の【地域とのふれあい】を主眼にした地域密着型を目指されているので、運営推進会議ではグループホームの行事を中心に会議が展開されている。今回は、地域合同消防訓練や夏祭りについて話され、駐車場など関連した問題も話題にされ出席者の意見やアドバイスを得られている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>同意を得る書類への相談・苦情の対応窓口などの記載はもちろん、たよりや口頭で機会あるごとに伝えられている。経営者も職員も相談・苦情が無いことが良いとは思っておらず、入居者・家族の伝えにくい心情も理解されており、サービス提供の向上を常に心がけられている。又、経営者は、ネット上にログインしてもらう方向で検討されている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域密着型が前面に出されるようになり、職員の意識も高く、地域とのかわり方も以前にも増して活発になり、特にホーム主催の行事には準備の段階から地域の方に協力してもらい大きな成果を挙げている。地域を基盤としたネットワークが始動し始めたところである。</p>

2. 評価結果 (詳細)

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	組織内グループホームの管理者が集まり、理念の検討・見直しをされ、新たに地域密着型を意識した理念を作成されている。共通の理念ではあるがそれぞれに独自性の展開・特色を目指されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	胡桃では【地域とのふれあい】をキーワードにした交流を目指されており、地域・ホームの行事を通じた双方向の関わりを基盤に取り組まれている。職員一人ひとりに【地域】を意識した言動が増え、日々の交流や実践にも反映されている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	相互の行事参加を通して、挨拶や声かけも立ち止まった会話へ移行し、物のやり取りも「一寸多めに作ったので皆さんで召し上がってください」など、お福分けが食生活にも波及しており、地域を拠点とした基盤づくりが出来始めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価・外部評価を通して色々なことにチャレンジ・試みられることは大切なことではあるが、入念な計画、継続性、現状と目標の比較評価などに欠けている面が多々見られる。		職員会議の記録はされているが更に、意識・方向付けに繋げる為の改善計画シートを作成して、現状を踏まえた検討項目、目標、評価など記録し、入居者・共同生活を考慮した一貫性のある改善の取り組みが期待される。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	レジュメ・資料作成で会議の要点を明らかにした会議運営に当たられており、活発な意見交換の場となっている。又、会議で出された意見やアドバイスはホームの運営に反映されている。		

グループホーム 胡桃

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者、経営者共にそれぞれの立場で市との連絡・相談などは十分に取られているが、双方が納得できる連携に至るにはまだまだ時間が必要である。		プレゼンテーションのための豊富な資料・材料集めで相互の接点・理解に繋がる諦めず弛まない努力に期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の請求書と共に入居者の様子記載のたよりや経費の領収書添付で出納報告もされており、変化時は電話などで随時連絡され家族の安心に繋がられている。又、年賀状や暑中見舞いの葉書には入居者の顔写真など取り入れている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	同意を得る書類への苦情・相談窓口の記載はされており、機会を見ては意見の聴取に努められている。経営者は、家族の伝えにくい心情も理解されており、ネット上でログインしてもらえる方法を検討され、関係者の理解と実現に向けての操作手順の伝達など考案中である。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	組織内グループホームの交流で入居者と職員の馴染みの関係作りをされており、異動によるダメージを極力抑えるよう努められている。又、ここ1年離職した職員はなく、職員の安定にも配慮されている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	経営者の方針で職員のスキルアップを目指した取り組みとして、介護福祉士の資格取得のための全面支援を挙行されている。職員も呼応した姿勢で望まれており、意欲的である。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者はグループホーム協議会のリーダー的存在で、活動を通して相互のネットワークづくりや勉強会の参画をされ、交流を通じた向上に貢献し、共に成長されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>開設当初から、人工透析受診者を受け入れ、対応されているグループホームで現在3名の該当者が他の入居者と共に生活されており、特殊な条件を考慮した中で継続性、安心感を提供されている。今後も、ホームの多機能性を活かした取り組みで地域に貢献し、馴染みの関係、継続性を活かしたサービスの提供を目指されている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者が気づいたことを職員に伝え、職員が応じる光景が生活の自然な流れの中に幾度もあり、入居者と職員が共存している事が窺えた。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者の能力や行動範囲を理解した上で、自由な生活の支援をされているが、最近、【自由とわがまま】の線引きで苦慮されている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画のあり方の見直しをされ、数ヶ月前からアセスメント項目を活かした介護計画を作成されており、職員の介護計画の把握・観察に繋がっている。又、3ヶ月に1回、担当職員による長谷川式スケールチェックと家族の意見聴取なども介護計画に反映されている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的なアセスメント表の作成と長谷川式スケールチェック、ケア会議の職員の気づきや家族・本人の希望など総合的見解から見直しをされている。又、変化時の随時の見直しなど現状に応じたものである。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者に対しては人工透析者の健康管理や透析受診の送迎の支援や早期退院に向けた医療との連携支援など多機能性を活かした対応をされている。地域などに対しては透析食の助言や見学などの受け入れもされている。将来的にはショートステイやデイサービスの提供も検討されている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者の掛かりつけ病院の受診科別に連絡メモ帳や行動・生活記録など病気に応じた活用で適切な治療が受けられるように支援されている。又、必要時には病院の管理栄養士の指導を仰ぐなどの取り組みもされている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	定期的又は、随時のアセスメントの時点で重度化や終末期に該当する場合、方針を伝え、同意書を取られている。しかし、不安を抱えている職員もいる。		ホームとしてのターミナルケアに関する看取りの指針を文書化され、職員、家族、医療関係者などと随時話し合い、関係者全員の方針の共有が望まれる。又、職員に対してターミナルケアとの関わり方など自然な形での受容に結びつく取り組みが望まれる。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	回りに配慮した対応で言葉かけにも配慮されている。又、記録物の記入や保管にも個人情報の保護に関する取り組みが適用されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者一人ひとりの習慣や経歴など把握されており、共同生活の中に個別性の対応をされている。決められた本数内での喫煙、地域のひととの個人外出、食事時間の時間差などこれまでの生活の延長支援の提供である。		

グループホーム 胡桃

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の下ごしらえから後片付けの一連の作業の中に入居者の能力・経験を通して自発的に携わってもらい、職員と入居者の共同作業に繋がられている。作業を通して入居者間、職員との会話も発生し、意思の疎通がなされ表情も豊かに行動されている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日、入居者の希望に応じた支援をされている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居されてからの生活歴に伴い、一人ひとりの役割、入居者間の位置づけも出来ており、集いや独り居を流れの中に自分で作られ楽しまれている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	玄関脇のベンチは外気に触れる身近な場所で、利用される入居者も多い。病院受診や買い物以外にも月に1回は、全員で外食したり、ドライブなど外出の機会作りをされている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間以外は玄関に施錠されていない。その為、近所の方に協力の依頼をしたり、近くの交番にも入居者情報を伝えてあり、非常時に備えたネットワーク作りをされている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の方を交えた消防訓練の取り組みはされているが、風水害など自然災害に対する取り組みが未着手である。		自然災害に関する広域避難場所や経路の確認、連絡機関の把握と体制作り、備蓄品などの点検・確保など文面化されて自然災害時に備えられることが望まれる。

グループホーム 胡桃

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立表の記載に食材や成分、摂取カロリーの記事がされていない。職員の自主学習により栄養摂取や水分量などは、おおそ把握されているが、人工透析の入居者の受け入れをされているので、食品成分の把握や水分・塩分量などの把握は健康管理の面から最も重要である。		人工透析対応病院や保健所などの管理栄養士の専門的立場から、献立表のチェックと指導を仰がれ安心した健康管理の提供が期待される。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ほとんどの入居者がリビングで過ごされる時間が多く、環境的にも五感に響く設定である。対面式の厨房からは調理の音や匂い、人の気配を感じながら独り居や集いが選べ、自然採光も目に優しく、換気も行き届いており、入居者も寛いだ時間を過ごされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	見せていただいた居室からは入居者の生活感と個性や趣味が窺え、ホーム生活の時間と比例して、本人にとって落ち着ける馴染みの場所となっている。		